

アストロバイオロジーセンター10周年特集 (4)

太陽系外における生命の天文学的探索

ビクトリア・メドウズ 訳: 日下部展彦 592

EUREKA

宇宙線の「超新星残骸起源」を検証する

福井康雄・佐野栄俊 612

天球儀

ALMA 較正用天体の自動解析ツールの開発とその科学的応用

成田佳奈香・西田明正 622

シリーズ: 海外の研究室から

英国ハートフォードシャー大学でZ-groupを始めた

Centre for Astrophysics Research, University of Hertfordshire,
the United Kingdom

小林千晶 629

シリーズ: 天文学者たちの昭和

日江井榮二郎氏ロングインタビュー

第7回: アメリカ滞在 高橋慶太郎 633

日本天文学会行動規範

日本天文学会行動規範を作る

Code of Conduct/ハラスメント防止ガイドライン策定タスクフォース

望月優子(座長)・片岡章雅・日下部晴香・
小松英一郎・新永浩子・野村英子・林左絵子 643

雑報

日本天文学会早川幸男基金による渡航報告書

*Galaxy origins in the JWST era: a "crisol" of stars, ISM, and supermassive
black holes in the City of the Three Cultures & COSMOS Conference 2025*

田中匠 654

書評

星の文化史 世界13地域における星の知識・伝承・信仰

吉田二美 656

月報だより・寄贈図書リスト

657

【表紙画像説明】

超新星残骸 RX J1713.7-3946 の H.E.S.S. によるガンマ線カウント画像に, NANTEN と ATCA & Parkes による星間陽子分布(左)と, XMM-Newton によるX線強度分布(右)を重ねた. 等高線の破線領域は, 周囲よりも強度が低い. これら3分布は大局的には似ているものの, 局所的には有意に異なる. この違いを定量化することで, 星間陽子に比例する成分とX線(宇宙線電子)に比例する成分が分離できる.

【今月の表紙デザイン】

宇宙観測技術の発展は目覚ましいものがあります. 宇宙の起源と進化, その深い謎を解き明かすために, 過去, 現在, 未来へと繋がっていく研究者の情熱をイメージしました.